



現場から（最近のニュースから）

運がいい？



どの分野でも、成功したと言われる人々がよく言われるのは「運が良かった」という言葉です。その「運」について、3 万人以上に脳科学的ノウハウを講演してきた脳科学者・西剛志さんが考察している記事がありました。

運に関して、ケルン大学で行われた有名なパターゴルフの実験があるということです。被験者に「これは幸運のボールです」と伝えてから打ってもらったところ、何も伝えられていないグループに比べて、カップインの確率がなんと 35% も向上したそうです。つまり、「自分はツイている（運がいい）」という思い込みが脳の働きを活性化させ、無意識のうちに行動や判断力までも引き上げてしまうことを現しているということです。パナソニック創業者の松下幸之助さんは、社員の採用試験で「君は運がいいか」と質問していたそうです。自分が「運がいい」と思うことが、能力を開花させて、人生に運を引き寄せる可能性があるからだろうということです。

では、どのようにすれば「運がいい」人になれるのか、記事では、「人生でやりたいことを見つけている」人たちは、運がいいと言われる人たちだったとされています。そして、やりたいことを見つけると「運がいい」となることを示す数々の現象が研究から分かってきているということです。具体的には、4 つの“運を生み出す現象”が起きやすくなると紹介してありました。

1. 収入が上がる（やりたいことをしている人は幸福度が高く、生産性もアップする。）
2. 困難を乗り越える力がある（リスボン大学の研究では、「やりたいことがある人ほど、チャレンジ精神が高く、逆境に強い」という結果が出ている）
3. 疲れにくく、エネルギーが続く（やりたいことに向かって生きている人は、脳内に快感ホルモンが分泌されやすく、同じ労力でも疲れにくくなるという特性がある）
4. 人を惹きつける「魅力」に溢れている（やりたいことに情熱を注ぐ人には、自然と応援してくれる人が集まり、良い流れが生まれていく。これは、ハーバード大学の研究でも実証されている）

また、やりたいことをしていると、少しずつ共感してくれる人々や仲間が増え、応援してもらい、接触面積が広くなると言われています。そのように、自分のやりたいことに向き合っていく小さなことの積み重ねが、大きな差を生み出す、それこそが、運のいい人の正体ではないかと、記事は結んでいました。（6 月 22 日 GOETHE＜科学的にわかってきた、運がいい人の正体＞より）

たしかに、運がいいと言われる人々はいて、成功している人々もいるように見えます。しかし、ほんとうは、すべての人は、みんな同じように心に不安があって、なにかに追いかけていて、必死にもがいて生きているのです。自分はやりたいことがあって、運がいいから大丈夫と思っても、実際には心の不安や焦りがあることを覆って見えないようにしているだけです。ふと不安や焦りを覚えることがあるでしょう。それは本当のことに気づくチャンスです。その思いをなにかで覆って見えなくするのではなく、そうなるしかない人間の本質を見てもみませんか。その本質を見てこそ、自分が生きる目的も出て来て、運がいいというのではなく、まことの祝福が与えられます。その本質について、いっしょに見てみませんか。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になる、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってくださったことを感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」